



第 32 号

発行
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地

電話 (0545) 55 - 2851

(0545) 55 - 2852

FAX (0545) 53 - 4633



消防団長挨拶

富士市消防団長 渡邊 明夫

消防団だより発行に際しまして一言御挨拶申し上げます。

消防団員の皆様方には、日々の生業の傍ら、地域の安全・安心を守るため消防団活動にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

また、団員のご家族、職場の皆様方をはじめ、市民の皆様には消防団活動に御理解・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ収束しておらず、多くの方が集まるイベントや行事等において様々な制限を強いられております。

今年度の消防まつりについては、新型コロナウイルスの急速な感染拡大状況を鑑み令和2年に引き続き中止となりましたが、消防出初式については、富士市ロゼシアターを会場に感染症対策を徹底することで、滞りなく開催することができました。

このような中でも、南海トラフ巨大地震をはじめ、各種災害に対応するため、全消防団員が、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底し、健康管理に努め、市民の安全・安心を確保できるよう災害対応には万全を期し、日々活動を続けております。

つきましては多くの市民の皆様への御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束するとともに市民の皆様をはじめ、消防団員の皆様が、これからもご家族を大切にされ、より一層御活躍されますことをお祈り申し上げまして挨拶といたします。

令和3年度 新入団員教育

広報紙編集委員 副委員長 鈴木 秀夫

令和3年5月30日(日)消防団の新入団員教育が富士市役所駐車場で開催されました。

平成30年度から令和2年度に入団した新入団員の、男性44名、女性1名 合計45名が参加しました。

団員は日頃より健康管理に努め、新型コロナウイルス感染症に対する対策を十分に行い実施しました。

教育の内容としては屋外で、礼式訓練、小型ポンプの操作、ポンプ車の操作など、実務に必要な教育を行いました。例年、室内での講義もあるのですが、新型コロナウイルス感染の対応により、今回は無くなりました。

新入団員教育は、富士市にある31ヶ分団の新入団員が

一同に集まり、消防団長及び指導員が見守る中で行われます。消火の技術的などところはもちろん消防団員としての意識、火災現場では連携することの大切さなどを習得します。受講後は、一人前の消防団員として認められ、これからは各分団での活動を通し学んでいくこととなります。

富士市も他の市町村と同様、消防団員の確保が課題となっております。今回入団した新入団員には感謝するとともに長く続けていただき『地域を守る安心の架け橋』となつていただけることを期待しています。



新人団員の抱負

第1方面隊



第3分団 団員

馬原 巧

新入団員教育と今後の挑戦

私が消防団に入団したきっかけは、近所の団員に勧誘されたからです。

新入団員教育では訓練礼式、器具・設備取り扱いの実技研修を行いました。訓練礼式では指の先まで気を張るようご指導頂き、普段の生活では集団行動をとることが少ない為、皆の息を合わせるのが大変でした。機械器具の取扱い訓練では小型ポンプの操作方法が印象に残っています。

日頃から消防団での訓練を行っています。手を触れる頻度が少なく不安に思っていた為、今回詳しい知識を学ぶことができて良かったです。新入団員教育で学んだことを念頭に訓練を重ねながら、安全・確実性を第一に消防活動を行っています。

今後、チャレンジしていきたいことは大型ポンプ車の運転・操作です。

第2方面隊



第6分団 団員

下田 良英

消防団に入団

私が消防団に入団したきっかけは、団員の方からお誘いを頂いたことでした。私は地域の役員やこども会、PTAの防災活動に参加していましたので、地元の消防団にも興味がありました。しかし、様々な活動との両立ができるのか、不安から入団は躊躇していました。有事の出動以外に、訓練、研修、夜警、機械器具点検等に年間何日参加し、どの時間帯に活動するのか、実際の情報が無かったからです。幸い

親しい方から教えて頂き「出れる時、出れない時もある。みんな仕事も生活もあるなかで活動しているのだから。」という言葉頂き、自分なりの活動ができればと思い入団しました。

現在はコロナウイルス感染症の影響で思うような活動はできていませんが、「家族や仲間と暮らす地域のため」という思いを持って活動していきたいと思います。

第3方面隊



第11分団 団員

梅原 一史

消防団への入団とこれからの思い

「消防に入ってよ！」地域の先輩と顔を合わせる度にお決まりの会話。挨拶代わりとしか思っていなかった私は、実際に自分が消防団に入団するとは思いませんでした。

「地域の消防団＝もしもの時の手伝い係」そんな軽易なイメージでしかなく、今思えば消防の活動に対して無知でしかありませんでした。

そんな私も2児の父であり、子供たちの未来を想ったり、生涯をこの地で過ごすにあたり、何か自分に出来ることは無いかと考える時間が増えるようになりました。そんな自身の気持ちの変化もあり、ある時の先輩からの

声掛けに自然と承諾していました。

しかし、そんな私の決断もコロナに振り回される形となり、入団1年目の活動はことごとく中止となりました。2年目を迎えた今年も先の見えない状況は続いています。ただ、入団を決めたからには、この状況下において自分に何が出来るのか、何をすべきか…日々模索中ではありますが、少しでも地域の役に立てればと思っています。

新入団員として、たくさんの経験と学びを得ていく覚悟です。1日も早いコロナの収束を心から願います。

第4方面隊

消防団に入団して



第13分団 団員
飯田 竜 弥

私は十数年前に他県より富士市に引っ越しをしてきましたが、就業先が隣の市ということもあり富士市に知人がほとんどいない日々を過ごしていました。そんな中、子供が参加をした地域活動で知り合った消防団員の先輩から声をかけていただき、消防団に入団をしました。

入団した時期が新入団員教育終了後であったことより、毎月行う車両点検や随時行われ

るポンプ車訓練および各種行事に参加をすることで活動内容を覚え、次年度の新入団員教育を受ける予定でしたがコロナの影響で中止。入団してから約1年半後に開催された新入団員教育に参加をすることができました。例年より時間が短縮された中での教育でしたが、火災時の迅速な消火活動の流れや夜間巡回広報の目的など消防団の地域貢献の大きさを学ぶことができました。

第5方面隊

新入団員教育で学んだ事



第17分団 団員
丹羽 飛 鳥

私は今まで生きてきた中で“消防車がどのように放水するのか？”“普段目にしていないマンホールの種類や意味、中の構造がどのようになっているのか？” これまでに深く考えた事はありませんでした。

今回の新入団員教育で学ぶことによって、一般の多くの方は知らない事が沢山あると思いました。火災や災害があった時の消防団員

の仕事や活動の大切さが分かりました。ここで学んだ多くの知識や経験を一般の方々とも共有し、火災や災害発生時には1人でも多くの方の不安や危険を少しでも減らすことができたらと思います。

新入団員教育で学んだ事を忘れずに、消防団員であることを自覚して、日々を過ごしていきます。

第6方面隊

消防団は最高のボランティア



第23分団 団員
矢島 慎 介

この度、富士市消防団第23分団に入団しました矢島です。入団して始めて非常勤の特別職地方公務員である事を知りました。消防団に入ったきっかけは、昨年自宅の改装をお願いした近所の大工さんが消防団に所属しており、入団に誘われた事がきっかけです。私は今までに運送会社や建設会社に勤めていた現場経験があり、様々な運転免許や建設機械の免許を保有していますが、今後この経験を何か地元の為に役立てられないかと考えています。

現在は地元ラジオ局ラジオエフ84.4MHzで働いており、いつ発生するかわからない緊急災害時の情報発信に備え、ラジオ放送を日々、社員一丸となって取組んでいます。入団した感想

ですが、諸先輩方は本当に様々な職種の方がいて、ご年配から若い方まで年齢層が幅広いだけでなく知識も豊富で頼りになる存在ばかり。新しい仲間を探し求めている方にもピッタリなボランティア団体が消防団ではないでしょうか。また、ちょっとした相談事に乗ってもらえ、オープンな人間関係がとても気に入っています。

昨今、コロナウイルス感染拡大防止の為、防災訓練をはじめ様々な行事が中止となっていますが、火災や災害が発生すれば待ったなしで対応しなければなりません。今後は、少しでも皆さんのお役に立てるよう、諸先輩方の力をお借りしながら消防団の活動に励んでいきたいと思っています。

第7方面隊



第29分団 団員
齋藤 祐介

消防団に入団して

令和元年12月1日、今とは違いコロナ禍でないその頃、当時幼稚園児であった私の子供たちと木島地区の防災訓練に参加しました。その時、私は消防団の皆さんから声を掛けられました。「消防団に入らないか?」と。

勧誘された当初は正直葛藤の連続でした。私なんか消防団として務まるのかどうかと不安で一杯でしたが、29分団の皆さんはとても温

かく私を家族のように迎えてくれました。夜警や出初式、警備活動などの行事はもちろん、何度か火事場へも出動する経験もしました。消防団としての行事を経験して行く度に消防団員の一員になれているなど感じています。

コロナ禍で思ったような活動が出来ていない昨今ですが、まだまだ若手として地域の防災に取り組んでいきたいと常日頃感じております。



第30分団 団員
荳口 温平

消防団に入団して

私は昨年、18歳で30分団に入団いたしました。私が入団したのは、同じ分団に友達の親がおり、声を掛けてもらったことがきっかけでした。入団前は、正直なところ最初は何をしているのかよくわからず、あまり興味もなかったのですが、話を聞くと普段扱う事のないポンプ車のこと・消防団活動、いろんな職業の方が参加しているので、自分が経験したことのない話が聞けると思いました。

入団してみて「おもしろい、ためになる」と感じる事が多く、続けていきたいと感じました。また、消防活動においては、先輩達が活動してきた内容を一つ一つ大切に覚えていきたいと思えます。

ボランティア活動になりますが地域の為、自分の為に、精一杯頑張って続きたいと思っています。

令和2年度 消防庁長官表彰

令和2年度消防庁長官表彰として、2団体(連名)が竿頭綬を受章し、3名の団員が永年勤続功労章を受章しました。

【竿頭綬】2団体(連名)

富士市消防本部・富士市消防団

【永年勤続功労章】

氏名	市川 正人 (いちかわ まさと)	古屋 功 (ふるや いさお)	熱川 康徳 (あつかわ やすのり)
経歴	職:元分団長	職:分団長	職:元分団長
出身分団所在地	第18分団 田子浦地区	第10分団 元吉原地区	第2分団 吉原地区
消防歴	36年10月	40年5月	37年11月



市川元分団長 古屋分団長 熱川元分団長 渡邊団長

分団長会議

分団長会議は団本部員と分団長が集まり、訓練や防火広報、各種行事に関する話し合い等を行っています。通常は2カ月に1回、消防防災庁舎で行いますが、今年度は庁舎工事の関係で、ロゼシアターで会議を行うこともありました。



富士市消防団は 31の分団があります。



消防団は地域ごとに7つの方面隊に分かれています。
あなたのお住まいの地域やお勤め先は何分団が守っているのか？
ぜひこの機会に地域の消防団について理解を深めてみましょう！

第1方面隊

所属分団:第1・2・3・25分団 団員数:107人 管轄地区:吉原・伝法・広見・青葉台
消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署、大淵分署

第1分団(吉原地区)

消防団活動について 団員 大前 隆

今年度、第1分団では、消防団の活動とボランティア活動を兼ねて、吉原小学校のプール清掃を実施しました。
消防ポンプの放水圧力により、プールに溜まった泥などの除去がしやすくなりました。また、プール面にこびりついて落ちにくい枯葉汚れも落とすことができました。教職員からプール清掃の作業が非常に楽になったと、とても好評でした。
第1分団として、学校や地域に貢献できることに改めて光栄に思いました。



団員数	33人(男性33人、女性0人)
地域の小中学校	吉原小、吉原第一中
所在地	御幸町13番24号
分団長	藤田 克秀

係長 天野康徳

第25分団(広見地区)

消防団では訓練、団体行動、礼節、その他沢山の事を学ばせていただいています。
礼式指導員となり大役を仰せつかってますが、前任者のような立派な指導員になりたいです。



団員数	21人(男性21人、女性0人)
地域の小中学校	広見小、青葉台小、岳陽中
所在地	石坂442番地の25
分団長	加藤 定男

こちら2分団

班長 湯澤伸吉

第2分団(吉原地区)

当分団は火災出場のほか、地域のイベントへ積極的に参加するなど、地域住民との繋がりを大切にしています。団員数の維持・増員が課題であり、新入団員を確保するためのPR活動にも力を入れています。



団員数	24人(男性24人、女性0人)
地域の小中学校	吉原小、吉原第一中
所在地	津田町149番地の1
分団長	佐野 文彦

団員 鈴木幸司

第3分団(伝法・日吉地区)

東京2020オリンピックで立哨ボランティアをやりました。静岡県での自転車ロードレースは有観客で行われ「ソーシャルディスタンスをとりましょう」というプラカードを持って立っている役でした。



団員数	29人(男性27人、女性2人)
地域の小中学校	伝法小、吉原第一中
所在地	伝法1601番地の1/吉原5丁目1番20号
分団長	清水 尚芳



FUJI RED FAIRY

カラーガード隊 隊員募集中



連絡先

富士市消防本部消防総務課
☎0545-55-2851



興味がある方、見学希望の方はぜひお気軽にお問い合わせください。

第2方面隊

所属分団:第4・5・6・7・12分団 団員数:145人 管轄地区:今泉・原田・富士見台・神戸・青葉台・大淵 消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署、富士見台分署、大淵分署

現在の第4分団について 団員 佐野 正明

第4分団(今泉地区)

私の所属している消防団は、今泉村から始まり現在まで続く歴史と伝統のある分団です。しかし、現在重要な問題を抱えています。それは団員不足です。会社員の方が多く、新たに入団する方が少ないのです。高齢化が進み人数も少なくなっており、少しでも新しい方に活動を理解してもらい入団希望が増えれば良いと思っています。



団員数	26人(男性26人、女性0人)
地域の小中学校	今泉小、吉原第二中
所在地	今泉2丁目9番30号
分団長	小林 一三

係長 杉澤 直人

第5分団(今泉地区)

私達5分団では団員の高齢化、減少が危ぶまれる中、直近では2名の精鋭が消防団活動に協力してくれる事となりました。コロナ禍で活動が制限されてはおりますが、事故、怪我無く共に成長できればと思います。



団員数	26人(男性26人、女性0人)
地域の小中学校	今泉小、吉原第二中
所在地	今泉7丁目1番12号
分団長	内藤 公明

新役員になったの思い 班長 鈴木 直行

第6分団(神戸・今泉・富士見台地区)

入団から15年が過ぎた今年、班長に拝命されました。団員と共に消防団人生を楽しみたいです。近年のコロナ禍、気象の激しい変化に対応し、地域の防災に役立つような活動をしていきます。一緒に人生を楽しめる新入団員を募集しています。



団員数	33人(男性33人、女性0人)
地域の小中学校	神戸小、青葉台小、富士見台小、吉原北中
所在地	さんどまき140番地
分団長	渡邊 剛

消防団に入って早10年 団員 山本 聡

第7分団(原田・富士見台地区)

私が消防団に入って10年以上が経ちました。子供がまだ小さい頃に、消防車が好きだったのと、近所に住む元消防団長に勧められて入団しました。今では子供も大きくなってしまい憎たらしいですが、次男は今でも夜警の時に家の前を消防車で通ると、手を振ってくれます。

私が所属している7分団は、建設業、ガラス屋さん、会社員など、様々な業種の方がいます。人生経験豊富な方ばかりなので、消防に関することだけではなく、人生の勉強もさせてもらっています。

この10年で火災や災害時に出勤し、普通の会社員では体験できないような経験をしました。応急手当普及員もやらせてもらっています。

この経験を活かし、まだまだ学ぶことが多いですが、先輩団員の方々のようになれるよう、消防団活動に励みたいと思います。



団員数	28人(男性28人、女性0人)
地域の小中学校	原田小、吉原第三中
所在地	原田484番地の5
分団長	藤田 富士男

係長 加藤 一仁

第12分団(大淵地区)

礼式指導員に抜擢され10年が経ちました。各地で発生する災害を見ると、より一層消防団としての心構え、的確な行動ができる知識と技術を団員達に指導する思いが強くなります。訓練にも心を込めた熱い指導をしていきたいです。



団員数	32人(男性32人、女性0人)
地域の小中学校	大淵第一小、大淵第二小、大淵中
所在地	大淵3010番地の19
分団長	藤田 道信

女性団員も活躍中



富士市消防団では、平成26年4月に富士市初の女性消防団員が誕生しました。令和4年1月現在で、11名の女性消防団員が活躍中です。女性も地元分団に所属し、災害活動、広報活動、防災訓練、住宅防火診断、普通救命講習など、男性同様に活躍しています。また、女性ならではの発想やきめ細やかな対応で地域に密着し活躍できるよう、訓練に励んでいます。

今後は、ネットワークを広げるとともに消防団のPR活動を通じて女性団員を増やし、消防団の活性化につながるよう消防団活動に取り組んでいきます。

第3方面隊

所属分団:第8・9・10・11分団
吉永北 消防車台数:6台

団員数:110人 管轄地区:吉永・須津・浮島・元吉原・
最寄り消防署:吉永分署、臨港分署

第8分団(吉永地区)

団員 海藤 雄一

普段は看護師として働き、消防団活動も参加しております。現在活動が思うようにできない状況にありますが、引き続き感染予防対策の徹底、早期の終息を目指し、これまで通りの活動ができるように願っています。



団員数	36人(男性33人、女性3人)
地域の小中学校	吉永第一小、吉原東中
所在地	比奈167番地の1
分団長	齊藤 徹

第9分団(須津・浮島地区)

団員 木下 佳威

私の所属している9分団の須津地区は、大畑の滝や田園が広がる自然豊かな地域ですが、台風や大雨で自然災害に見舞われる事があります。日頃から訓練や資器材の点検をしっかりと行い、災害に備えていきたいです。



団員数	28人(男性27人、女性1人)
地域の小中学校	須津小、東小、須津中
所在地	中里642番地の3
分団長	小野 政敏

副分団長 川嶋 丈尚

第10分団(元吉原地区)

富士市の東部沿岸部に位置する元吉原地区の防災、消火、人命救助等の活動にあたっております。訓練大会での充実感、仲間との消火活動「カッコいい、行かないで」と心に残る娘の言葉。入団して28年、素晴らしい思い出と共に、この活動がより良く継続されて行く事を願っております。



団員数	19人(男性19人、女性0人)
地域の小中学校	元吉原小、元吉原中
所在地	今井3丁目3番12号
分団長	古屋 功

第11分団(吉永北地区)

係長 鈴木 善雄

小型ポンプ操法の選手経験を活かして指導員となり、選手を育成する経験を積みました。その後、富士支部指導員に任命され活動の場が更に広がりました。県内各地の指導員との交流の中で、様々な情報を交換する事ができ、この経験を今後の活動に役立てたいです。



団員数	27人(男性27人、女性0人)
地域の小中学校	吉永第二小、吉原北中
所在地	鵜無ヶ淵228番地の13
分団長	勝又 敏明



第4方面隊

所属分団:第13・14・15・19・20分団
岩松、岩松北 消防車台数:5台

団員数:118人 管轄地区:富士駅北1・2、富士北、
最寄り消防署:西消防署

第13分団(富士駅北1地区)

第13分団の紹介 係長 福島 耕一郎

第13分団は富士駅の北側を中心とした地域の安全・安心を見守っています。

最近ではコロナ禍の影響で各種イベントが中止となっておりますが、地域の行事への参加も行わない地域に住まわれている皆様との交流なども行ってきています。

地域貢献を考えている方、ぜひ13分団まで声を掛けてください。新たな仲間をいつでも募集しております。



団員数	23人(男性23人、女性0人)
地域の小中学校	富士第一小、富士中
所在地	本市場297番地の4
分団長	神尾 基典

第14分団(富士駅北2地区)

学生消防団の意気込み 団員 井出 裕貴

私は袋井市にある静岡理科大学に通う18歳の大学生です。学生でも消防団に入ることができることを知ったため入団しました。入団を決めた理由は、地域貢献をすることで様々な人の役に立てると感じたからです。

実際の活動はまだ行えていないのですが、今後は実際の災害現場などで活動ができれば良いと思います。そのためにも月に1回行われる訓練をしっかりと行なって準備をします。

将来は富士市消防本部に入ることが夢なので、それに向けて大きな実績や経験を積みたいと考えています。



団員数	17人(男性17人、女性0人)
地域の小中学校	富士中央小、富士第一小、富士中
所在地	本市場440番地の9
分団長	井出 英章

第15分団の紹介

副分団長 深澤 一正

第15分団(富士北地区)

第15分団は富士市北地区を中心に活動をしている消防団となります。

近年は大きな災害もなく安心をしていますが、いつ大きな災害が起きても、地域の皆様の安全・安心を十分確保できるように、毎月の機材の点検を団員みんなでいっしょに備えています。

地域の安全・安心に協力いただける方、ぜひ第15分団の扉をたたいてみてください。



団員数	24人(男性24人、女性0人)
地域の小中学校	富士中央小、富士第一小、富士中
所在地	本市場新田144番地の6
分団長	上家 泰弘

私の趣味

団員 古牧 峻

第19分団(岩松地区)

私は以前勤めていた会社の方の紹介で第19分団に入団をすることになりました。

もともと船員をやっており、船に乗ること、何より海が大好きです。今も時間を見つけては釣りに出掛け、大自然の中で魚と格闘をしています。魚を釣ることは勿論好きですが、釣った魚を新鮮なうちに食べることも大好きです。

もし、消防団の方で同じような趣味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非お話をしてみたいです。



団員数	23人(男性23人、女性0人)
地域の小中学校	岩松小、岩松中
所在地	松岡492番地の23
分団長	河合 啓文

連 綿

団員 鈴木 勇太

第20分団(岩松北地区)

第20分団は、富士市北西部、岩本山の一部を含む比較的広域の管轄を担っております。漫画「キングダム」でいうところの「秦」のような位置にあるとイメージしていただければ分かりやすいかと思います。

岩本山の梅まつり、実相寺の御会式、雁まつりといった地域の行事にも参加し、他の分団同様「地域密着型」の分団として活動しております。

地域住民の安全を守り、親しまれる分団を維持するためには、相応の技能と人間性が求められます。毎月の定例会、巡回等の活動は、温かい雰囲気で行われつつも、活動の意味や資機材の扱いについての伝達が、脈々と受け継がれて、分団の文化が現在の分団を支えています。

今後も、地域に信頼され親しまれる分団として活動し続けて参ります。



団員数	31人(男性31人、女性0人)
地域の小中学校	岩松北小、岩松中
所在地	岩本43番地の12
分団長	影山 裕芳

第5方面隊

所属分団:第16・17・18・26分団 団員数:78人

管轄地区:富士駅南、田子浦、富士南 消防車台数:4台 最寄り消防署:南分署

班長 勝亦 祐介

団員 飯田 侑樹

第16分団(富士駅南地区)

毎月第3日曜日に、総勢20人の仲間で消防車の点検、放水訓練、また季節ごとの行事参加や広域活動など、駅南地域の皆さんに密着した活動を行っています。我が分団は年齢層も広く仲間を大事にし団結力が強い事が自慢です!



団員数	21人(男性19人、女性2人)
地域の小中学校	富士第二小、富士南中
所在地	十兵衛271番地の3
分団長	今福 宏記

第17分団(田子浦地区)

第17分団は活気あふれる分団です。様々な年代の方が所属していて交流が盛んです。現在は新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止になったり規模が縮小したりしていますが、行事には団員同士で協力して積極的に取り組んでいます。

また消防団の活動や規律等について、新入団員である私達にも優しく丁寧に教えていただきました。まだまだ分からないことも多いですが、先輩方を見習いながら成長していきたいと思っています。

団員同士で協力して何かに取り組むのはとても楽しく充実しています。新型コロナウイルスが終息した際には、消防団の活動を通して様々な行事に参加し、地域の方々との交流を深めていきたいと思っています。団員としての自覚を持ってこれからも活動していきたいと思っています。



団員数	18人(男性18人、女性0人)
地域の小中学校	田子浦小、田子浦中
所在地	中丸427番地の1
分団長	丹羽 貞裕



団員 佐野智昭

第18分団(田子浦地区)

「自分たちの地域は自分たちで守る」まさかの事態が発生した時に、身近にいる人同士の助け合いが必要です。地域住民による組織である消防団の存在意義や、団員の成り手不足を地域の皆で考えていきましょう。



団員数	24人(男性24人、女性0人)
地域の小中学校	田子浦小、田子浦中
所在地	鯨島452番地の6
分団長	外山 晃博

班長 鈴木智亮

第26分団(富士南地区)

火災や災害時の出場以外では、消防まつりや地域のイベントなどに家族揃って参加することもあり子供たちも一緒に楽しんでいます。団員をはじめ地域の幅広い世代の方達との交流ができるのも26分団の魅力です。



団員数	15人(男性15人、女性0人)
地域の小中学校	富士南小、富士南中
所在地	森下81番地の1
分団長	齋藤 正道

第6方面隊

所属分団:第21・22・23・24分団 団員数:87人 管轄地区:鷹岡、天間、丘
消防車台数:4台 最寄り消防署:鷹岡分署

新入団員として

団員 鈴木貴大

第21分団(鷹岡地区)

令和2年3月に21分団に入団し1年経ちました。5月の新入団員教育に参加し消防団員としての基礎を学び、7月には22分団との合同放水訓練を行い、初めてのことでばかりで緊張してしまいましたが、皆様が優しく多くのことを学べました。



訓練で学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。

団員数	15人(男性15人、女性0人)
地域の小中学校	鷹岡小、鷹岡中
所在地	鷹岡本町2番22号
分団長	勝又 宏文

班長 坂本光俊

第22分団(丘地区)

私は近年体調を崩したこともあり、思うように活動に参加が出来ていませんでしたが、3年度より班長を打診され引受けることにしました。コロナ過もあり訓練などの活動が思うように行えませんが、これまでの活動から得られた経験を少しでも後輩に伝えていきたいと思っています。



団員数	32人(男性32人、女性0人)
地域の小中学校	丘小、岳陽中
所在地	厚原686番地の1
分団長	渡邊 政人

副分団長 小林真也

第23分団(鷹岡地区)

入団して、火災出動以外の地域イベントの参加により、多くの人と触れ合うことが出来ます。分団には様々な職業や趣味の方がおりプライベートでも付き合える人が増えました。団員や先輩方に恵まれ、楽しく活動しています。



団員数	24人(男性24人、女性0人)
地域の小中学校	鷹岡小、鷹岡中
所在地	久沢732番地の2
分団長	若月 和浩

第24分団(天間地区)

24分団に入団して!

団員 高橋利英

訓練や消防活動として大変な事もありますが、それに負けない位楽しい事が多く、何より2人の子供が消防団である父をカッコいいと思ってくれる喜びがあります。24分団は深刻な団員不足の厳しい状況です。一緒に消防活動を楽しみませんか?



団員数	16人(男性16人、女性0人)
地域の小中学校	天間小、鷹岡中
所在地	天間1104番地の1
分団長	田中 陽

入団問い合わせ
各種QRコード

入団等の問い合わせは

富士市消防本部 消防総務課 TEL 0545-55-2852
E-mail:syoubou_soumu@div.city.fuji.shizuoka.jp



富士市消防団
入団電子申請



facebook



Instagram



Twitter



Youtube

第7方面隊

所属分団: 第27・28・29・30・31分団
南松野、北松野 消防車台数: 5台

団員数: 108人 管轄地区: 中之郷、岩淵、木島、
最寄り消防署: 富士川分署

新型コロナウイルス禍での消防団活動

班長 早川大志

係長 佐野満大

第27分団(中之郷地区)

消防団活動においても活動を自粛し、必要な活動として毎月の機器点検を中心に、備品管理等を行っています。一人でも感染すると活動が停止し、地域の安全が確保出来なくなるため、全団員体調管理に留意しています。



団員数	22人(男性22人、女性0人)
地域の小中学校	富士川第一小、富士川第一中
所在地	中之郷856番地の55
分団長	齋藤 彰一

第28分団(岩淵地区)

私は、28分団部長の佐野満大です。私たち団員は男子14名、女子3名の計17名です。私達は、岩淵地区を担当しています。これから消防団員として、しっかり活動をしていきたいと思っています。



団員数	17人(男性14人、女性3人)
地域の小中学校	富士川第一小、富士川第一中
所在地	岩淵421番地の2
分団長	望月 啓史

シャッターアートリニューアル大作戦

副分団長 仲摩佳一

団員 中村大助

第29分団(木島地区)

富士川町消防団第3分団時代の平成7年、当時の分団長の一言でシャッターアート大作戦が始まりました。令和3年1月に25年の時を経て、シャッターアートのリニューアル大作戦を、現富士市消防団第29分団長(望月年真)を中心に無事完了致しました。



団員数	20人(男性20人、女性0人)
地域の小中学校	富士川第一小、富士川第一中
所在地	木島284番地の1
分団長	望月 年真

第30分団(南松野・北松野地区)

一昨年から昨年に掛け5人の新入団員が入り、入団期間におけるベテランと若手が融合し合い、世代を超えた新たな活気を起こしています。お互いに心地よい横の繋がりができており、機械器具点検をコロナ禍の中でも和気あいあいとした雰囲気を出している30分団、今後の活動に乞うご期待!



団員数	24人(男性24人、女性0人)
地域の小中学校	富士川第二小、富士川第二中
所在地	南松野1845番地の1
分団長	天野 貴之



富士市消防団第31分団

副分団長 佐野直己

第31分団(北松野地区)

私達の管轄区域は、山に囲まれ山林火災の危険がある地域です。過去の出動経験から、その怖さは今も忘れられません。いざ出動すれば、怪我、最悪は命の危険もある訳です。災害は待ってくれません、その時のために常日頃からの訓練を心掛け、常にモチベーションを維持する努力をしています。



団員数	25人(男性25人、女性0人)
地域の小中学校	富士川第二小、富士川第二中
所在地	北松野1234番地の1
分団長	松井 正彦

富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



指導員

団本部 指導部員 山崎 誠

私は令和2年4月支部指導員(訓練礼式)に任命されました。

コロナ禍の影響で、行事や訓練の中止が相次ぎ、新任者としての仕事がほとんどできない1年目でした。2年目の現在も思うように活動できない状況が続いており焦燥感を感じています。1日でも早い新型コロナウイルス感染症の終息を祈るばかりです。

先を見通しづらい状況ではありますが、将来の訓練礼式のあり方に変化があります。団員の負担を軽減するための取り組みとして、市大会の廃止、支部大会での訓練礼式の部の除外が決まっています。しかし、大会が無いからといって訓練礼式が無くなる訳ではありません。訓練礼式は必要な訓練です。今後は、なぜ訓練礼式が必要な訓練なのかを団員の皆様に丁寧に説明し、理解していただける指導ができるよう指導力向上に努め、歴代の先輩指導員の皆様が築き上げてくださった、伝統ある富士市消防団訓練礼式を大切にしながらも時代の変化に対応し、更なる発展を目指し精進してまいります。



応急手当普及員

団本部 警防部長 増田 憲昭

東京オリンピック・パラリンピックも終了し、日本をはじめ世界各国のアスリートの皆さんには沢山の感動を頂いた令和3年度ですが、新型コロナウイルス感染状況は昨年よりも極めて厳しい状況となり、8月には静岡県を含む全国21都道府県に緊急事態宣言が発令されるなど災害級の事態となりました。



富士市消防団においても救命講習を含むほぼ全ての講習が中止または延期となり応急手当普及員の皆様には歯がゆい思いをさせているのではないかと感じております。応急手当普及員会としてもこの時間を利用してコロナ禍での救命講習実施方法の見直し等を行い活動再開時には今まで以上の講習が出来るようにしたいと考えております。また今後の応急手当の普及を含む消防団員の活動として、毎年全国各地で発生している水害時の土砂災害に伴う住民救助・避難誘導等の訓練及び教育を実施していく必要があると感じております。



ラッパ隊副隊長になって

ラッパ隊副隊長 内藤 陽一 (第22分団)

「ラッパ隊気を付け！ラッパ用意！」

この号令でラッパ隊員に緊張が走ります。隊長の胸の位置で持つ指揮棒がスッと頭の上まで上がる瞬間、僕達は一斉にラッパを口元に支度し集中します。

ラッパ隊員にならないとなかなか知ることのない号令や動きですが、消防団の式典等では皆の前に出て制服には他の団員より少し目立つ飾りを付けてピカピカの金色に光るラッパを指揮に合わせて上げ下げし吹奏して式典に花を添えます。

ちょっと格好つけて言ってみました、その理想の花形になれるように皆で毎週練習をしています。



ラッパ隊に入って初めてラッパ(金管楽器)を手にする隊員も多く、なかなか音が出るように出ないこともあります。規律の面ではラッパを持っている為、今まで分団で教わってきた動きと違う動きがあり、戸惑ってしまう隊員も居ますが、ゆっくり楽しく皆で教え合っています。

私は今年度から副隊長を命ぜられ、清水隊長や角替副隊長のサポート、指揮の練習、隊の雰囲気作りに全力で頑張っていこうと思います。



富士市消防団協力事業所の紹介

令和4年1月1日現在

1 富士トラック(株)	12 三晃堂鍼灸治療院	23 遠藤建設(株)	34 (有)秋山配管工業所
2 (株)三和工務店	13 (株)大善工務店	24 (株)富士の国 渡邊農園	35 松本工業(株)
3 (有)佐野商事	14 (有)池田自動車工業	25 サンコー防災(株)	36 junprogresso(ジュンプログレッシ)
4 佐野晶彦(不動産賃貸業)	15 山本土建	26 税理士法人IBS富士事務所	37 (株)YOSHIKAN
5 平松建築	16 桑原左官工業	27 (株)加々美	38 ナーセリーイデ
6 深沢消防産業(株)	17 静岡日野自動車(株)富士営業所	28 (株)司技研	39 佐野文彦(不動産業)
7 (株)川嶋組	18 シンセア環境サービス(株)	29 (有)ヤザキ総合エクステリア	40 (有)佐野自動車工業
8 影山モータース	19 (有)大塚技研 第2工場	30 (株)プレーン	41 (株)伊藤電気
9 田中豊工業	20 (有)飯田電設	31 和田建設(株)	
10 合資会社 堀野紙工	21 (株)西尾組	32 (株)イチエイ	
11 (有)増田製袋	22 (株)佐野総業	33 (有)三浦電気	

※登録順

富士市まとい会

富士市まとい会の紹介

富士市まとい会 会長 後藤 和紀



令和2年度の「富士市まとい会総会」で羽切会長の後任として、第17代会長に就任した富士市消防団第22分団出身の後藤和紀です。26年の消防団活動を終え、消防職団員OBで組織する「富士市まとい会」に入会し、今年で21年経ちました。

まとい会は、現在80名の会員で平均年齢は71歳です。活動内容は消防団活動の支援協力、富士市災害ボランティア連絡会の会議、防災活動への参加があります。

また、会員相互の親睦としては、方面隊毎に実施している懇親会（無しの隊もあります。）、更には隔年で実施している一泊の視察研修があります。（もちろん参加者の個人負担です。）

今まで、心に残る主な視察地区は、福井県の原発、東日本大震災で被害を受けた福島県いわき市、新潟県糸魚川市の大火災跡等です。

以上の被災地の視察は、「災害から身を守る」防災活動の参考になっていると思います。

最近、地震や豪雨による河川の氾濫、土砂崩れ等の被害が多発しています。特に身近な熱海市の伊豆山地区の土石流の発生は、人災とも言われています。これらの災害を見ても消防、消防団の活躍する場面が多様化してくると推定できます。その団員達を応援する意味でも「災害から身を守る」防災活動を進めるべきだと思います。

令和2年から今年にかけて発生している新型コロナウイルス感染症により、市、消防団、まとい会の行事の大部分が中止、延期となり、会議もほとんどが書面会議になっています。従って、会員同士の顔合わせも十分にできない状況です。それでも近い将来、新型コロナウイルス感染症が収束し、本来の活動ができる日に戻ると信じ、心待ちにしている今日この頃です。

結びに、この3月で消防団を退団される皆様へ一言、「長い間、消防団での活躍ご苦労様でした！。これからはまとい会です…ネ。」

令和4年 富士市消防出初式 令和4年1月9日(日)

富士市消防出初式が2年ぶりに開催され、326名(内消防団員194名)が参加しました。通常は富士市役所北側駐車場で行われますが、今回は富士市ロゼシアターにて規模を縮小し、感染症対策を徹底して開催されました。



※撮影時のみ、マスクを外しています。

今回の出初式で上映したPR動画を富士市消防本部の公式YouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



Youtube



編集後記

消防団だよりを発行するにあたり団員の皆様、関係団体から寄稿していただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。皆様からの寄稿を拝読させていただき、消防団活動に対する団員のひたむきな姿勢、ご家族のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、本年度を振り返りますと、昨年以上に新型コロナウイルス感染症が流行し、日本国内での社会規制を始め、本県においても緊急事態宣言発令など私たちの生活に直接関わる深刻な日々が続き、消防団の活動も自粛状況が続きました。また災害に関しては、令和3年7月3日に熱海市伊豆山地区で発生した大規模土石流災害で多くの方が被害に遭われました。

この災害を通して感じた事は、災害は思いもよらない場所で突然起こること。災害によって普段の生活が一瞬で変わってしまう恐ろしさを知り、私たち消防団が担う役割と市民からの期待を再認識させられました。今後も多種多様化する災害を適切に対処できる技術習得に努めてまいります。

結びにあたり、この消防団だよりが、団員各位の意識の高揚と団結心が養われることを祈念すると共に、一人でも多くの市民が消防団員として活躍していただきますよう、これからも紙面作りに努力してまいりますので、御支援、御協力をお願い致します。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

委員長

団本部 第6方面隊長 関弥 一夫

副委員長

団本部 副総務部長 鈴木 秀夫

委員

第25分団 係長 鈴木 信一

第4分団 班長 佐野 晶彦

第8分団 団員 仁藤 貴敏

第13分団 係長 福島耕一郎

第26分団 係長 齋藤 勝正

第22分団 団員 増田 圭佑

第31分団 団員 二又川武政